

議会だより



沖縄県金武町

きんてん



金武町イメージキャラクター
金武タームくん

第170号

発行：令和4年9月4日



人気リゾートエリアとして期待されるKINサンライズビーチ。美しく染まる光景に癒されます。

主な内容

- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 2～14
- 吉野 潤P 2 / 山里 均P 3 / 與那城直也P 4 / 伊藝直樹P 5 / 外間慎仁P 6
- 大城一之P 7 / 仲村広美P 8 / 松田健人P 9 / 池原政文P 10 / 崎浜秀幸P 11
- 大城政敏P 12 / 前田健次P 13 / 仲間トムP 14
- 令和4年第3回(6月)定例会 / 令和4年第4回(7月)臨時会
- 令和4年第5回(8月)臨時会・他・・・・・・・・・・・・・・・・P 15～20

◆発行：金武町議会 ◆編集：議会広報調査特別委員会

〒904-1292 沖縄県国頭郡金武町字金武1番地 NTT098-968-2292 有線電話8-2292
金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp> 金武町議会メールアドレス gikai@town.kin.lg.jp

きんてん(均霈)とは、「均しく霈う」という意味で、町民が等しく行政の恩恵を受けられるよう町民代表の議決機関の使命を踏まえて昭和55年の発行1号の際に命名しました



令和4年第3回(6月) 定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



吉野 潤 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

行政運営

吉野議員 今後の行政運営についてどのようなまちづくりを目指していくのか。

仲間一町長

今後4年間は町民の暮らしを最優先に取組んでいく。その中でも次の7つについては重点的に取り組む。

- 人材育成に関する取組み
- 国道329号の渋滞対策
- 安心安全な水道水の供給
- 複合庁舎の建設
- ギンバル開発の推進
- コミュニティバスの本格運行

○町の特産品の販路拡大、生産者への生産意欲と所得向上及び金武町のPRを図るための金武町アンテナショップ設置

吉野議員

コロナ対策はどのように考えているか。

島袋博保健福祉課長

5月は488名の方が陽性という事で増加傾向が続いている。対策としてはワクチン接種が一番だと考えるため、4回目のワクチン接種や小児接種を引き続き進めていきたい。

吉野議員

町長は目配り、気配り、心配りということを常に年始の挨拶から所信表明での挨拶、施政方針の中でも言い続けているが、課長、課長補佐、係長あるいは会計年度任用職員の間まで町長のキャッチフレーズの言葉

がすっかりと行き届いていないといった声も聞かれている状況である。

各課・町民全体にしっかりと

と隅々まで行き渡らせることが今後4年間の務めだと考えるが。

町長

行政においては町民目線、町民の立場に立つて物事を進めていくのが大事だと言っている。

課長以下職員に対して目配り、気配り、心配りの大切さを訴えて、町民に優しい行政ができるように努めていきたい。

屋嘉団地の建て替え

吉野議員

屋嘉団地は町で一番古い団地で建て替えてほしいが町の考えは。

町長

国の補助金を活用し、事業化に向けて現在取組んでいる。

吉野議員

取組み状況は。

伊芸英明 住民生活課長

補助先と昨年度からヒアリング等行っており、事業化に

向けて今年度もヒアリング等も行いながら具体的な形でできるように取組んでいる。



建築から38年が経過した町営屋嘉団地

船揚げ場の管理

吉野議員

設置当初の目的は。

町長

漁業者の船舶の利用や台風等自然災害の際に避難する船舶を船揚げする場所として昭和58年に沖繩県が整備した施設である。

吉野議員

管理状況は。

町長 沖繩県の管理となっているが、港湾施設清掃等の



金武湾港屋嘉地区(屋嘉船揚げ場)

維持管理や安全管理のための巡視等の一部は地元町村へ事務委任されているため、町は金武漁業協同組合と港湾施設清掃業務等委託契約を締結している。

吉野議員

今後の管理体制は。

町長

町と金武漁業協同組合が連携して毎月1回の巡回パトロール、同組合による草刈等清掃作業を実施しており、その状況を県へ報告し、情報共有しながら港湾管理に努めていく。



山里 均 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

排水路新設及び流路変更

山里議員 令和2年度の伊

芸区行政懇談会で排水路の新設要請があつたが、集落内の配水調査を行ったか。

仲間一町長 令和2〜3

年度にかけて伊芸区で冠水被害が出ている美徳川東側の平田原と伊芸地区集会所西側の川田原を中心に冠水調査を実施した。

その結果側溝の断面が小さいことや排水経路の効率が悪く等が原因で冠水が起きていることが分つた。令和4年度に冠水対策工事の実施設計を行い、令和5年度に工事を実施し、冠水被害の軽減を図っていく。

山里議員 字伊芸4番地裏

から1番地まで水田の排水路がないために大雨によって水稲農家も不便をされているが設置の考えはないか。

町長 現状は素掘りの排水

溝で水田の排水を行っていることを確認しており、豪雨の際には排水できず水溜りとなる状況も確認している。

町は整備に必要な用地、排水溝の設置方法について伊芸区や近隣農家の意見を踏まえながら、設置に向けて検討をしていく。

山里議員 4番地〜1番地

裏は排水路がないため少々水が田んぼに溜まっている。調査する場合は雨上がりの後に調査してほしいが。

糸村昌敏 農林水産課長

農林水産課はこれまで現場確認をしている。今後も農家の意見を聞きながら検討していく。

山里議員 農家自身で盛土

をして排水溝を造っているが確認しているか。

農林水産課長 農家から

聞いており協力できるところは協力していくと話をしていく。

ただし、4番地の向かいの田んぼが一番下がっているため、その対策は必要であり農家の意見を聞きながら検討していく。

山里議員 既存の雨水溝が

あるが撤去するのか。

金城司建設課長 雨水溝

については現在撤去する予定はない。

山里議員 農家自身がス

コップで20センチぐらい4番地の方へ掘るため面積も減っている。早めに検討してやってもらいたいが。

農林水産課長 農林水産

課としては農家も一緒になって協力してほしいと考えている。

側溝を設置すると、さらに田んぼを潰して用地を確保しなければならぬという

課題もあるのでそこは近隣農家の意見や対策をいろいろ

検討して取組んでいきたい。



排水路がない 字伊芸1〜4番地裏の田んぼ

ウフブツチャ原水田

山里議員 ウフブツチャ

原の水田に水が溜まらないため原因調査の依頼をしたが、施工業者や農家からの聞き取り調査を行ったか。

町長 令和3年10月から

伊芸区と数回意見交換を行い、水田かんがい施設の施工業者や付近の水稲農家へ聞き取り、令和4年3月に伊芸区と連携して現地調査を行った。

調査では水を張った水田を数日間巡回し状況を確認

したが、原因の特定が難しく、継続調査してその対策方法を検討していく。

山里議員 今後の取組み

は。

町長 現在一期作の栽培

状況を通して水田の状況を確認しており、伊芸区や農家と連携して水が溜まらない原因の改善に向けて、県の農業改良普及課等の専門機関から助言等を参考にしながら取組んでいく。

山里議員 どういう対策

をしていくのか。

農林水産課長 農業改良

普及課から専門の方を招いて現状を見てもらい、改善方法や講習会をしていくことを考えている。



水が溜まらない ウフブツチャ原水田



與那城直也 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

**アカシ海岸に設置された
アーサ養殖跡地の対応****與那城議員** 当地域でアーサ養殖が行われている実態はあるのか。**仲間一町長** 近年までアーサ養殖を行う漁業者は不在となっていたが、令和3年

10月から漁業者1名がアーサの養殖に取組んでいると金武漁業協同組合から報告を受けている。

與那城議員 当地域にアーサ養殖の区画漁業権が設定

されているか。

糸村昌敏 農林水産課長

金武漁業協同組合が沖縄県より平成20年からヒトエグサ(アーサ)ひび建て式養殖業の第一種特定区画漁業権が設定されており、同組合の漁

業者1名が平成30年度までアーサ養殖に取組み、年間約8・5トンの生産量があった。



アカシ海岸に設置されているアーサ養殖地

與那城議員 鉄筋等が結構

あるが大潮の場合見えなくなる。ウインドサーフィン等をやった場合に中に入っただけがをする心配もあるので養殖をやるならブイの設置や区画を分けてもらって入らないように安全対策をしてほしいが。

農林水産課長 ウインド

サーフィンをこの海域でや

っていると聞いている。鉄筋が立っているためブイや旗の目印を付けるように漁業者がやることになっている。実際に目印の旗は立っているため安全対策にも配慮するようにと漁業組合と漁業者の方に伝えていく。

国道329号バイパス合流地点における交通渋滞対策**與那城議員** 渡慶頭原地域の本線をバイパス側へ切り替えるよう要請する考えはないか。**町長** 北部国道事務所より

現道329号の交通量が多く、今後キャンプ・ハンセンのアクセス道路へ交通量がシフトし、現道329号の交通量が減ることが確認された段階で沖縄県警察本部と協議を重ねた後に本線移行が行えるものと聞いている。

與那城議員 中川区の合流

地点が一時停止となっており、通勤時間等において渋滞

が発生しているため、付加車線を設置し緩和策を要請する考えはないか。

町長 中川合流交差点は

当該箇所の交通量等の状況や安全面を第一に考慮した上で現在の交差点形状になっていると聞いている。

北部国道事務所からは今後交通量調査を実施し、交通状況の確認をしていきたいと回答を得ており、課題等を明確化した後に北部国道事務所と協議をしていく。

與那城議員 中川は一時停

止で朝の混み具合があり、隣の町道から飛ばしていく車が多々見られる。安全面から付加車線を設置してほしいが。

伊藝勲企画課長 停車

線の左側に除草シートが敷かれていて三角島と言われるところがあるが国道事務所の管轄になっている。今は活用の計画等はないということですのでその辺を利用して、渡



一時停止となっている中川合流地点



三角島(中川合流地点)

慶頭交差点のポストコーンのようなイメージでできないか話し合いをした。今後そういった交通量等も踏まえて、現場確認した上で協議が進んでいくと考えている。



水道水



伊藝直樹 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

伊藝議員 中川区の地下水と企業局の水との混合割合は。

仲間一町長 これまで中川地下水源から約25%、企業局用水約75%の混合水で供給している。

伊藝議員 地下水の安全性は。

町長 令和元年6月に水質検査を行い、安全性の確認をしているが令和2年3月に同水源の水量減少や水の濁りが原因で取水を停止している。現在は企業局直接送水及び並里地区オランダ森配水池からの送水により中川地区の水道水を供給している状況となっている。

伊藝議員 企業局の水を全量送水するのはいつか。

町長 現在、県道104号線沿いに建設中の甘喜原配水池の工事が完了後、令和4年12月に中川地区、ギンバル地区へ企業局用水の全量供給が開始となる。



建設中の甘喜原配水池

伊藝議員 甘喜原のタンクは1000トンだが中川区の1日分の水量は。

伊芸誠 上下水道課長 中川区の水量は1日平均として350〜400トン使用されているので十分供給できる。この1000トンのタンクはギンバルにも供給されるため1日半〜2日は持つと考えている。

金武町営住宅

伊藝議員 中川にある4つの団地の空き家になっていく件数は。

町長 中川団地2戸、中川第2団地1戸、中川第4団地2戸の空きがある。

伊藝議員 入居者募集をかけた場合にどれぐらいの人数が申込するのか。

町長 令和2年度実績で1戸の募集に対し3〜5件である。

伊藝議員 草刈り等団地周辺の環境整備は。

町長 少しでも環境美化が図られるよう団地入居者へごみ袋を配布し、環境美化に協力してもらうようお願いをしている。

伊藝議員 夏場は草木の伸びが早いいため定期的に役場で周辺の草刈りや雑木の撤去を実施できないか。

伊芸英明 住民生活課長 団地の清掃、草刈り等の清掃は入居者の方々にお願いしている。定期的に入居者で行うことが必要だと考えている。

町長 町道中川15号線はみつばこども園入口に接している道路で側溝も整備しているが、大雨時には隣接する農地から雨水が流出している状況を確認している。その原因は金武町苗畑及び周辺農地等から集まる雨水の排水をするための側溝が未整備であると考えており、今後当該箇所の排水設備の整備を計画していく。

伊藝議員 どのように整備するのか。

金城司建設課長 この一帯は苗畑の南側からみつばこども園まで一帯の排水を考慮しないとイケないため道路も含めて整備できないか検討していく。

町長 大雨時や台風後等に町内のパトロールを実施すると共に流出箇所の原因等を確認し、流出防止の指導を行っている。

伊藝議員 大雨で雨水が排水されず道路へ流出し通行も危険な状態だが、町の対策は。

町道中川15号線



町道中川15号線



外間慎仁 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

町長3期目の町政運営・まちづくり

外間議員 安心安全な水道水の整備に全力で取り組むとあるが、PFOSの除去をどのように取り組むのか。

仲間一町長 令和4年度において企業局用水の受水を増量するため県道104号線から金武ポンプ場、並里浄水場までの送水管布設替え工事を実施し、令和4年度末の工事完了後、5年度から金武地区、並里地区へ企業局用水が全量供給されることとなっている。

外間議員 国道329号の渋滞対策・緩和の取り組みは。

町長 沖縄自動車道を利
用し通勤するキャンプ・ハ

ンセン関係者等の利用は金武インターチェンジの出入口付近から直接キャンプ・ハンセンにアクセスする道路整備が進められており、沖縄防衛局から令和4年度中の完成を予定していると報告を受けている。

さらに本年度、北部国道事務所において沖縄自動車道金武インターチェンジ交差点設置のための延伸工事等を行う予定となっており、国道329号からキャンプ・ハンセン直結道路に転換されることで同地域における渋滞が緩和される。

外間議員 複合庁舎建設の今後のスケジュール計画は。

町長 令和4年度に基本計画策定、5年度に各種調整、6年度に基本設計及び実施設計、7年度着工、8年度中の完成、供用開始を目指していく。

外間議員 ギンバル開発をどのように推進していく

のか。

町長 同地域での開発を計画しているトロピカーナ社との連携を密にし、同社から今後提出される新たなマスタープランを基に工事の早期着工を促していく。

外間議員 武田原遊休地の解消は。

町長 令和4年度は武田原地区耕作放棄地対策協議会を立ち上げ、遊休農地を解消するための話し合いや最適土地利用計画の検討及び整備計画を策定し、5年度以降に整備工事を実施する計画となっている。

若者世帯定住促進

外間議員 金武区内に空地

等が見当たることが道路側溝・水道が未整備のため住宅地として利用ができないが、町の道路側溝・水道整備の予定はないか。

町長 金武レッド・ビーチの進入路付近地域から住宅建設計画に係る相談を受

けているが上下水道等のインフラ整備がされておらず、住宅建設の計画が立てられない状況である。

本件は地域住民からの相談を受け、これまで沖縄防衛局と種々調整を行ってきたが、当該道路が軍用道路となっていることからインフラ整備を行うにあたって米軍と調整が必要となっている。

今後は当該整備が一日も早く実現できるよう引き続き沖縄防衛局と調整を行い、米軍にも早期実現に向けて協力するよう求めていく。

物価高騰による支援策

外間議員 ひとり親や生活

困窮世帯への支援策は。

町長 各給付事業の早期実施により生活困窮者等の支援を進めることとしており、今議会においても非課税世帯の低所得を対象とした子育て世帯生活支援特別給付金に係る予算を計上し

ており、予算の可決後の早期給付を目指して業務を進めている。

外間議員 建設業者の下請業をやっているダンブ事業者にも支援するべきでは。

町長 沖縄県トラック協会、中部トラック協会の代表者の方から状況を聞いて

いる。県が国からの予算を燃料経費に係る支援がどのような形になるのか精査しながら町の支援と組み合わせる。どのぐらいの車両があるのかということも調査している。

外間議員 農家への支援

策は。

町長 物価、燃料費等の高騰による影響を受ける農家への支援は必要な部分に必要な支援ができるよう、方法を検討し、早急な支援が行えるよう関連する事業費を補正予算で計上し取り組んでいく。



大城一之 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

金武公会堂建設

大城議員 平成27年3月

定例会の一般質問で町長は「金武区とバリアフリー化も含めて調整を行っていきたい」とのことだが進捗状況は。

比嘉貴一 教育長 平成29

年5月10日に区行政委員の改選に伴い、当時の金武区長、区行政委員及び区職員に耐震調査に関する説明を行っている。

金武区において改修工事を行うか建て替えるか議論を進める予定だったが建設検討委員会は開催されていない。令和4年5月、金武区で公会堂建設検討委員会が再び組織されたことに伴

い、区から町長と教育長に対し、金武公会堂建設について要請文が5月24日付で提出されている。

大城議員 耐震調査の結果内容は。

大城議員 儀問権 社会教育課長

10年以上前の話では耐震性能の不足から耐震補強は必要と結果が出ている。

大城議員 今後町の考えは。

教育長 教育委員会としては区の要望を踏まえて事業内容や工程等を調整し、補助財源の検討を行う等町長部局とも相談しながら新公会堂建設の実現に向けて取組んでいく。

大城議員 金武区から提出された要望書があると思うが、検討した中で課題点等はあるか。

社会教育課長 区の財源だけでは厳しいところがある。町は補助財源のメニューを探すと考えるとされており、区や町長部局と相

談しながら補助メニューの確保に向けて取組んでいく。



金武公会堂

新型コロナウイルス感染症

大城議員 町内の感染状況と感染対策は。

仲間一町長 累計1939人の報告がある。

これまでマスクの入手が困難な時期に全世界への感染予防を目的としたマスク配布を2回実施し、高齢者施設等へは消毒液の配布を実施している。

大城議員 町民のワクチン接種状況は。

町長 3回目の接種率は65歳以上が84・1%、64歳以下が47・2%である。また

新たに接種を開始した5〜11歳までの小児への接種は1回目の接種率は8%である。

大城議員 キャンプ・ハセンの感染状況と対策は。

町長 軍人の累計感染者数が3185人、その内3139人が回復し、現時点で陽性者数は46人である。

基地従業員の感染者数は令和3年12月1日〜令和4年6月13日までの累計感染者が54人である。

国外から配属される軍人・軍属は出国72時間前のPCR検査の実施や日本国内の新たな生活様式に準じ、ソーシャルディスタンスの確保、人が密集する場でのマスク着用の推奨、基地内各施設出入口への消毒液設置等の対策をしていると報告を受けている。

大城議員 児童・生徒の感染状況と感染対策は。

教育長 (感染状況は下表のとおり)

各小中学校の感染状況 (単位：人)

	小学校		中学校	
	児童	職員	生徒	職員
4月	34	1	10	1
5月	79	1	32	2
6月	31	4	5	0

令和4年度の新学期を迎えるに当たって、教育委員会の広報『くくむ』号外を発行し、小中学生、保護者、町民の皆様へオミクロン株における感染状況を説明し、改めて感染対策の徹底をお願いしている。また小学校の部活動指導者連絡会において部活動における感染事例等を説明し、引き続き感染対策の実施をお願いしている。

※コロナウイルスに関しては6月13日時点のものです。


仲村広美 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

施政方針

仲村議員 複雑化・多様化する行政課題や町民ニーズに対応するため、職員の資質向上・能力開発を推進するとともに、行政が抱える諸課題の解決に「チーム金武」として取り組む組織体制の構築、職員意識の醸成を進めていくとあるがどのように取り組むのか。

仲間一町長 対面型の研修だけではなくオンライン研修を含めた研修の計画、研修の充実を図り、職員一人ひとりが各業務に必要な専門知識や技術を習得できるように取り組んでいく。

また新採用職員、一般職員、管理職員それぞれの階

層に適した研修を実施する等、組織全体で職員の資質や能力の向上に努めていく。

さらに職員の健康管理のためのきめ細やかな相談業務等、専門機関を活用したメンタルヘルス対策等も実施していく。

仲村議員

課題は。

伊波朝親 総務課長補佐 事務事業の効率化、人員の削減や適正配置等が課題となっている。

仲村議員

職員が研修を受けた後はどのように反映させているのか。

総務課長補佐

研修後に報告等を総務課に提出している。研修を受けた中で生かせるものについては課の職員同士で共通しているが全体に共有するのは行っていないため今後できるか検討して進めていく。

仲村議員

研修を生かさないという意味がないが、職員に対して町はどう考えているか。

町長

職員の業務に対する捉え方は講習・研修を受けることでこれまで視点を変えられなかったことができてきたようになることが住民サービスにつながると考えている。

今後も職員研修を続けていく。

人事

仲村議員

過去の広報で職員の懲戒処分について掲載されていたが、処分を決定するまでの流れは。

町長

懲戒処分は地方公務員法、職員の懲戒の手法及び効果に関する条例、金武町職員の懲戒処分に関する指針に基づき行われることとなっている。

不祥事を起こした職員、または不祥事を発見した職員は所管課長に報告し、課長は職員、関係者等への調査を行い、町長へ報告し、町長は金武町職員分限懲戒審査委員会へ諮問する。

町長は当該委員会の答申に基づき、懲戒、分限、法外処分の決定を行う。

仲村議員

処分は地方公務員法の規定に基づいて公平性をもって適正に行われているか。

総務課長補佐

地方公務員法や金武町職員の懲戒処分に関する指針等に照らし合わせて行っている。

仲村議員

内容によって処分も変わってくるのか。

総務課長補佐

そういう判断をしている。

仲村議員

職員から不満が出ないように個人的感情ではなく、客観的に見て判断していく努力をしてほしいと思うが。

町長

個人的な感情でやるものではない。審査委員会での議論し、ケース・バイ・ケースで判断をしていく。

仲村議員 昨年6月定例会において「選考採用の規則的なものについて事例調査して導入を検討していき

たい」と答弁していたが、その後どのような検討をしたのか。

町長

地方公務員法等に基づき書類選考や面接等による選考採用を行っているが引き続き他市町村、国や県の事例を調査し、競争試験または選考による職員採用の手法の改善を進めいく。

仲村議員

選考採用に関しては努力して採用試験を受けている人もいる中で不満の声が聞こえてくる。そういう声があると職場の雰囲気や停滞感等が出てきて町民サービスにも影響が出てくるのではと危惧しているが。

池原均副町長

この選考採用については議員や町民に理解できるようにいまい一度その件についてしっかりと精査しながら皆さんが理解できるように仕組みに変えていきたい。



松田健人 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

金武町体育施設の管理

松田議員 町のホームページの各施設開館状況で令和4年2月21日から「当面の間」とあるが、利用制限の解除は。

儀間権 社会教育課長

新型コロナウイルス感染状況から体育施設の利用制限に係る措置を継続する中、教育委員会では教育委員会や各地区公民館長で組織する館長会を複数回開催し、体育施設利用制限解除の話し合いを行っている。令和4年5月27日適用の沖縄県対処方針において「感染拡大を抑え、医療体制を守り、社会経済活動を継続するための対策期間」として令和

4年6月23日まで感染防止対策の徹底等の協力要請が出ており、町内でも感染拡大が続き、町内の就学前保育・幼児教育施設、小学校、中学校で学級閉鎖等の措置が取られている状況から利用制限の解除には至っていない。

松田議員 施設の利用、予約は。

武道館、庭球場、ベースボールスタジアム、フットボールセンター、陸上競技場は開館時間を平日及び土曜は午前8時30分～午後7時30分までに短縮している。原則町外の方や団体の新規予約は受け付けず、学校等が実施する教育活動や部活動を優先し、町民や中体連、高体連等が開催する公式大会等に限定して事前予約による施設利用としている。

社会教育課長

体育館、

松田議員

複数の町外チームが野球場を利用していたのはなぜか。

社会教育課長

金武町の

団体として予約を受けていると考えているため、事実を確認し不公平感が生まれないような形で施設が利用できる体制づくりに取り組んでいく。

観光とスポーツの振興**松田議員**

主なスポーツキャンプの受入期間とキャンプ時の職員配置・受入体制は。

仲間一町長

毎年1～2月にかけてプロスポーツキャンプを受入れている。受入れは商工観光課と社会教育課が中心となり対応しているが、出店は商工会、物販等は観光協会に協力してもらっている。



キャンプ時の物販店

松田議員

プロスポーツ

キャンプに対する町のビジョンは。

町長

今後、多目的屋内運動場も完成予定となっており、プロスポーツキャンプが町に定着する中、温泉宿泊施設やKINサンライズビーチ等の観光関連施設も整備されることで経済や観光振興への効果が一層高まることが期待される。

松田議員

今後のプロスポーツキャンプの受入れ、運営体制は。

町長

プロスポーツキャンプ受入れ体制の強化や機運醸成を図るため、観光協会が中心となり受入れ協力会設立に向けて取り組んでお

松田議員

観光とスポーツの連携は。

沖縄県全体において観光産業とスポーツの結びつきがより深まる中、町もスポーツを観光振興の柱の一つと位置づけ、観光協会や商工会、関連企業等と連携を強化していく。

松田議員

町の施設は本

当に充実しており、施設を十分に活用してもらい、もっと身近にプロスポーツを感じられるような取り組みを行ってほしいが。

仲間功 商工観光課長

関係団体も含めて一緒に協力しながら、盛り上げてこれから観光に波及効果が大きくなることを期待している。


池原 政文 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

高齢者の補聴器購入補助

池原議員 国の難聴者への補聴器購入の助成は障害者総合支援法に規定する障害者手帳を所持している高度・重度難聴者が対象となっているが、制度の対象外である補聴器が必要な加齢性難聴者の経済負担を軽減するため、低所得者を対象にした補聴器の購入費を助成する必要があると感じるが、町の考えは。

仲間一町長

聴覚障害6

級以上の身体障害者手帳を所持し、一定の聴力レベルの方には障害者総合支援法に基づき助成制度があり、令和3年度は6名が利用している。また、身体障害者

手帳の対象とならない方の助成は言語の習得、教育等における健全な発達を支援する目的から軽度及び中等度の難聴児へ補聴器の購入に要する経費の一部を助成する金武町軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業を実施しているが、その目的から高齢者は対象外となっている。

一方で、高齢者で中等度の難聴の方が補聴器を使うと一部の認知機能の低下が抑制される可能性のあることが国の研究機関により示唆されていることから町では身体障害者手帳を所持していない難聴の高齢者が補聴器を使うことによる認知症を予防する効果、また実際に補聴器を必要とする高齢者がどの程度有するか等のニーズを把握し、今後補聴器購入に係る経費の助成を検討していく。

池原議員

どのようにな

り調査するのか。

島袋博 保健福祉課長

どうやって調べるか課題があるが、現在は高齢者福祉系の包括支援センターで各老人の家で聞き取り等をしているので、そういう戸別調査で具体的な人数が出てくるのか検討していきたい。

池原議員

聞き取りは福祉

センターや各地区公民館ではないのか。

保健福祉課長

担当職員

が1年に1回は高齢者のお宅で面談することになっておりそこで聞き出している。

池原議員

制度を作る場

合、現在行っている助成事業の要綱に準じる形になるのか。

保健福祉課長

補聴器代

金の補助は県内では那覇市と南風原町が実施しているのでその要綱を参考にしながら作成していく。

池原議員

低所得者対象に

なるのか。

保健福祉課長

那覇市や

南風原町が低所得者を対象

とした助成となっているのでそこを参考に町も非課税世帯といった取組みでやっていきたい。

池原議員

いつから予定し

ているか。

保健福祉課長

制度設計

や金額をいくら補助するのか、補聴器は平均すると4万円、その半額と考えているため、そういったものを詰めながら次年度に取組んでいけるようにしていく。

池原議員

修理代も含め

て検討してもらいたい。

また、補聴器は時代とともに進化しており種類もたくさんあるため高齢者が認知症にならないように良い方向に考えていってほしい。



補聴器の例



崎浜秀幸 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

水道水の企業局からの給水

崎浜議員 河川や湧き水についてどのような管理・対策を取るのか。

仲間一町長 河川や湧き水はこれまで水質調査を実施し、その結果を町民に公表してきた。P.F.A.S等の汚

水は米軍基地からの影響である可能性が高いことから今後もし引き続き水質調査を実施し、現状把握を努めながら関係団体と連携し、国による原因究明及び指針値に基づく浄化対策等を講ずるよう要請していく。

崎浜議員 新聞報道では屋嘉区でP.F.A.Sが検出されている。検出した時の状況と水道水への影響は。

伊芸誠 上下水道課長

住民生活課が行っている河川調査で屋嘉ゴールデン・サン・ビーチホテルの小河川上流の方でP.F.A.Sの値が出ていると確認したため

5月24日に全地域の調査を実施した。これまでP.F.A.Sの値が出ていなかった屋嘉地区の原水である河川水で4ナノグラム、ダム水6ナノグラムの結果が出たが、水道水は企業局の水とブレンドしているため結果としては検出されなかった。

崎浜議員 大雨等で水かさが増し、P.A.F.Sが畑に流れると風評被害になり農家は大きな被害を受ける。そういった状況に至らない前に町は対策を取るべきだと考えるが。

系村昌敏 農林水産課長

野菜を作るためには安全な水を提供することだと考えている。町が取水している農業用水はP.F.A.Sが検出されていないので農家には

数値を示して説明している。今後もし安全な水が供給でき

るよう農林水産課も水源地の確認等を行いながら取組んでいく。

崎浜議員 米軍側の配慮がないと立入調査ができません

いがそこを改善させていく要請も必要だと考えるが。

町長 令和3年12月23日

24日に県知事、那覇市長と3名で総理官邸、在日米国外務省、関係省庁、自由民主党本部にも要請行動をしている。今後も粘り強く県や町の状況を関係市町村が連携してやっていく必要があると考えている。

P.F.A.S血中濃度調査と健康調査

崎浜議員 5月30日参議院予算審査委員会において

沖縄県のP.F.A.S汚染の問題と血中濃度調査・健康調査について岸田総理の前向きな発言があり、この好機に県や関連市町村・同じ問題を抱える他県とも連携し、

実現するべきと思うが町の考えは。

町長 町内の河川等で有機フッ素化合物P.F.A.S等

が検出され、町民に多大な不安を与えていることからP.F.A.S等の使用禁止、発生源を特定するための調査

及び原因究明等の対応、血中濃度検査の町単独実施が困難であるため、国や県が主体となった血中濃度検査を含む健康調査の適切な実施を要請してきている。

その中で先般の参議院予算委員会では有機フッ素化合物P.F.A.Sを巡る諸問題が取り上げられたこと、また岸田総理がこの件に対し答弁されたことは事態を進展させるものだと考えている。

町は有機フッ素化合物P.F.A.S汚染の根本的な解決

と町民の健康を守るために関係市町村と連携し、国や県、沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会等の場で原因究明と健康調査の実施を

引き続き訴えていく。

崎浜議員 血液検査に関

して実施できる方向で各市町村連絡を取り合いながら血液検査が国の予算で実施できる方向を強く求めていただきたいが。

町長 一日も早く国が責

任を持つて基地の立ち入り調査をすることが一番求められていると考えている。その中で責任がどこにあるか明確になった上で検査の結果が悪い方向に出た場合は国の責任で治療を行うという部分に結びつけていくことが一番大事なことだろうと考える。そういう意味では基地の立ち入り調査ができることが大前提なので力を合わせて引き続き粘り強くやっていく。



大城 政敏 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

職員の採用

大城議員 平成27年度～令和4年度の各年度別の競争試験を受験した人数は、**仲間一町長** (左表のとおり)

採用試験受験人数 (単位:人)			
年度	人数	年度	人数
H27	69	H31①	25
H28	56	H31②	30
H29	46	R2	24
H30	37	R3	27
		R4	29

大城議員 競争試験で職員を採用することの周知はどのような方法で行っているのか。

※H31は2回実施

のか。

町長 広報金武及び町ホームページで行っている。

大城議員 試験の結果(点数等)を本人に通知しているか。

町長 点数の開示請求があった場合は点数を本人に開示している。

大城議員 平成30年度と令和3年度に選考採用しているが、能力を実証する基準とはどのようなものか。

町長 平成30年度は町の農業振興を担う人材の採用を目的として1名を選考採用している。令和3年度は町の課題である複合庁舎整備事業の推進、防災事業等の推進のため1名、観光振興のために1名、合計2名を選考採用している。

体等で一定以上の職務経験を有しており、効率性、能力性の観点から選考により採用した。

大城議員 選考採用する

場合に選考採用を行うと何名に通知したか。

伊波朝親 総務課長補佐

選考採用はその時に必要な職種、人材を町が求めるもので募集はしておらず、町で把握している人材に対して通知し、面接や書類選考を行い採用している。

大城議員 町民への周知はどのような方法で行ったか。

町長 町民への周知は行っていない。

大城議員 競争試験による

ことが困難な理由とは。

町長 令和3年度は職員の急な退職等もあり、業務を遂行できる職員を配置する必要があった。

大城議員 採用時の年齢は。

町長 採用当時の年齢は3名町の採用試験の年齢要件を超えている。

大城議員 令和3年度に選考採用した2名は平成26年

町長選挙前に1月18日の新春の集いで青年部代表として頑張ろう三唱の音頭を取

った方と3月28日の総決起大会で青年代表として激励の挨拶をした方で間違いな

いか。

町長 後援会活動での選挙活動で当時は何十回とたくさんの箇所で行った話

合いや小さな集まりを持っている。その中で資料を見ると前に出て挨拶しているのがあったことを確認した。

大城議員 町は予算規模や職員数でも県内や全国の町村の中でも比較的規模の大きい地方公共団体だと考えるが、金武町は比較的小規模な地方公共団体だと認識しているのか。

町長 各自自治体の財政事情や独自の行政サービスは様々であり、一概に規模の大小は比較できないと考えている。

大城議員 人口15万人に満たないところは比較的小さな団体ということか。

池原均副町長 地方自治法の中では人口15万人以下

は比較的小さな団体であると追記されている。

教育委員会の人事

大城議員 地方公務員法21条1項3号で職員の任免権は教育委員会にあると規定されているが、任免権の現状はどうなっているか。

與那城樹 学校教育課長 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第3項に基づき、教育委員会の職務権限として教育委員会及び教育委員会の所管する学校、その他教育機関の職員の任免、その他人事に関することを執行している。

正規職員の採用についてはかねてより町長と各執行機関の任命権者の申し合せにより、町長部局で実施して異動により配置を行うこととして行っている。町長部局から当委員会への異動は地方自治法第180条の3に基づき、協議を踏まえて行っている。

いる。



前田健次 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

仮称「琉球泡盛で乾杯」
推進条例の制定

前田議員 泡盛製造酒造所の経営体力を図る観点から泡盛の需要回復を目指し、官民一体となって取り組む必要があると考えるが。

仲間一町長 「琉球泡盛で乾杯」推進条例についてはお酒を飲む、飲まない含め、個々の嗜好となることから条例の制定には慎重な検討を要するが、泡盛は沖縄の特産品であると同時に人々の生活に根づいた食文化の一つであると考え。

前田議員 町企画事業・祝賀会で町在所の酒造所の銘柄を優先使用する考えは。

町長 町に所在する酒造メーカーの銘柄を主催する

イベント等で引き続き使用するとともに、観光協会や商工会と連携しながらオンライン等での販売促進、町外、県外へのPR等を積極的に行っていく。

前田議員 観光協会や商工会と連携した取り組みはあったか。

仲間功 商工観光課長 2酒造所のPR活動も商工会、観光協会で行っている。最近では沖縄総合事務局の合同庁舎1階にあるファミリ

ーマーケットで特産品の販売ブースを設けて、商工会を通して置いてもらい紹介をしている。

前田議員 コロナ禍の今こそ官民一体となった泡盛の需要振興に一役買うことを願いたい。町の決意は。

町長 議員間でもいろいろな議論、賛同者を得る中で議会の方からもPRしていくということも有りだと考えている。



町内で生産されている2酒造の泡盛

我が町の人口動態等

前田議員 1世帯当たりの人員は。

町長 令和4年5月末時点の住民基本台帳による町の直近人口は1万1437人、1世帯当たりの人数は2.04人となっている。

前田議員 直近3ヶ月の広報金武を見たら人口減が若干見られるがその原因は分かるか。

伊芸英明 住民生活課長 年度が変わる3、4月の就職、進学等々があり、その住民票異動が主な要因と考えられる。

前田議員 人口減少を食い止めるための施策は。

伊藝勲 企画課長 町民のUターン等働く場を増やす施策も必要だと考える。

前田議員 65歳以上の高齢者世帯と単身独居高齢者の世帯は。

町長 町の世帯数は5608世帯で65歳以上の高齢者世帯は2380世帯、その内単身独居世帯は1286世帯となっている。

前田議員 我が町の男性・女性の平均年齢は。

町長 男性43.14歳、女性46.26歳である。

新生金武町音頭

前田議員 新生金武町音頭は現在の各区の町並みを表す等、町の未来を歌に託して町民の夢と希望を願う黎明の里を築く礎となると期待している。その楽曲作成にあたり、支援する考えはないか。

町長 町は金武町老人クラブ連合会から作曲や振り付け等に係る予算措置の相談を受け、補助金交付による対応を検討したが、同会から「金武町音頭の作成は町が主体的に取組んでほしい」旨の相談があったため、金武町音頭作成に係る補助金の令和3年度予算措置を行っていない経緯がある。新たな金武町音頭作成については関係団体との意見交換を踏まえて対応を検討していく。

前田議員 町が主体的に取組む考えは。

町長 関係団体の方に一度集まってもらい、いろいろな意見交換をする中からどういった形にして行った方が良いのか協議を進めていきたい。

その他の質問事項

屋嘉地区公民館中庭のステージ

令和4年 第3回(6月)定例会

令和4年第3回定例会が6月14日(火)に招集され、17日(金)までの4日間の会期で開催された。一般質問は13名の議員が登壇した。

各会計の補正予算や条例改正、工事請負契約などの議案が上程され、審議を行った。議決結果は、下記のとおり。

令和4年 第3回(6月)定例会 議決結果一覧

件 名	議決結果
専決処分の承認について(金武町税条例の一部を改正する条例) 地方税法の一部を改正する法律等が令和4年3月31日に公布されたことに伴い、金武町税条例の一部を改正し、令和4年4月1日から施行する必要があるため、同条例の改正について議会を招集する時間的余裕がないことから地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行い議会へ報告し、承認を求めるもの。	承認 (全会一致)
専決処分の承認について(金武町国民健康保険税条例の一部を改正する条例) 地方税法の一部を改正する法律等が令和4年3月31日に公布されたことに伴い、金武町国民健康保険税条例の一部を改正し、令和4年4月1日から施行する必要があるため、同条例の改正について議会を招集する時間的余裕がないことから地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行い議会へ報告し、承認を求めるもの。	承認 (全会一致)
専決処分の承認について(令和3年度金武町一般会計補正予算(第9号)) 令和3年度金武町一般会計補正予算(第8号)に金武中学校屋内運動場建設として5,656万1,000円計上したが、繰越明許費漏れがあり、確認作業し3月29日に関係する課で確定したため議会を招集する時間的余裕がないと認め、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行い議会へ報告し、承認を求めるもの。	承認 (全会一致)
令和4年度金武町一般会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ6億6,052万7,000円を増額し、補正後の予算総額を114億4,880万8,000円とするもの。補正の主なものは、KINサンライズビーチ海浜公園の町道中川36号線南側入り口の駐車場整備、展望台や休憩施設を整備するための工事費と金武町ベースボールスタジアムの屋外倉庫新設工事並びにダッグアウト等改修工事に係る施工管理業務委託料である。	原案可決 (全会一致)
金武町財政調整基金の処分について KINサンライズビーチ海浜公園備品購入、ベースボールスタジアム機能高度化事業等へ3,553万9,000円以内を充当するもの。	原案可決 (全会一致)
令和4年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ223万3,000円を減額し、総額18億4,255万円とするもの。補正の主なものは、人事異動に伴う人件費の減額である。	原案可決 (全会一致)
令和4年度金武町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ114万4,000円を減額し、総額1億6,771万円とするもの。補正の主なものは、人事異動に伴う人件費の減額である。	原案可決 (全会一致)

件 名	議決結果
令和4年度金武町下水道事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ644万円を増額し、総額を1億7,123万円とするもの。補正の主なものは、農業集落排水事業処理施設及びポンプ施設に係る修繕費の増額である。	原案可決 (全会一致)
金武町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 新型コロナウイルス感染症の影響により、所得が減少した国民健康保険に加入している世帯に対し、令和4年度国民健康保険税の減免を行うことができるよう減免申請の特例期間を設ける必要があるため条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)
負担付き寄附の受入れについて 屋嘉地区公民館及び体育館のトイレ修繕に充てることを目的に屋嘉区から寄附を受け入れるもの。	原案可決 (全会一致)
令和4年度金武町水道事業会計補正予算(第2号) 収益的支出の水道事業費に51万円を加え、総額を5億4,488万8,000円とするもの。補正の主なものは、水質検査手数料の増額である。	原案可決 (全会一致)
金武町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について 沖縄振興特別措置法第9条の地方税の課税免除に関する規定が令和7年3月31日までの3年の延長されたこと等に伴い、条例の一部を改正する必要があるため提案するもの	原案可決 (全会一致)
金武町防災行政無線放送施設の設置及び管理に関する条例の制定について 防災行政無線放送施設の設置に伴い、適切な運営及び管理を行うため、金武町防災行政無線放送施設の設置及び管理に関する条例を制定するもの	可 決 (全会一致)
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更について 令和3年第4回8月臨時会で議決された内容の一部変更 件 名:町道金武251号線整備工事(5工区) 契約の相手方:(有)照喜名建設・(有)金武土建 建設工事共同企業体 契約金額:「2億2,236万5,000円」を「2億4,284万1,500円」に変更	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更について 令和3年第5回9月定例会で議決された内容の一部変更 件 名:金武町多目的屋内運動場施設建設工事(建築) 契約の相手方:(株)ホカマ・(有)神中組・(有)仲正組 建設工事共同企業体 契約金額:「15億1,529万1,800円」を「15億5,881万800円」に変更	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名:金武中学校屋内運動場建設工事(建築) 契約の相手方:(株)ホカマ・(有)仲正組 建設工事共同企業体 契約金額:5億2,089万1,800円	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名:金武町多目的屋内運動場施設建設工事(外構) 契約の相手方:有限会社 大豊建設 契約金額:1億1,418万円	原案可決 (全会一致)

令和4年 第4回(7月)臨時会

令和4年第4回臨時会が7月19日(火)に招集され、1日間の会期で開催された。臨時会では、「伊芸区住宅地で発見された銃弾らしき物に関する意見書」を審議し、採決の結果可決となった。
議決結果は下記のとおり。

令和4年 第4回(7月)臨時会 議決結果一覧

件 名	議決結果
伊芸区住宅地で発見された銃弾らしき物に関する意見書 ※詳細は下記のとおり	原案可決 (賛成多数)

伊芸区住宅地で発見された銃弾らしき物に関する意見書

令和4年7月7日、金武町伊芸区の民家において、勝手口のガラスが割れ、近くに銃弾らしき物が落ちている旨の通報が町にあり、現在、沖縄県警察によって捜査が進められている。

本町では、日常的に住宅地付近で実弾砲撃訓練等が実施されており、長年にわたって訓練や演習に起因すると思われる山火事や騒音等の深刻な被害に悩まされている。今回の現場はキャンプ・ハンセン実弾演習場に隣接している地域にあり、住民生活に関わる問題で住民の安全が脅かされている懸念がある。また、同地区においてはこれまでも流弾事件が繰り返し発生していることから、地域住民の間では米軍による実弾射撃訓練の流れ弾ではないかとの憶測が広がっており、不安が拭えない状況となっている。

よって金武町議会は、町民の生命・財産を守り、安心安全な生活環境を確保する立場から、捜査機関と連携を図り、早期に事実関係を明らかにするよう要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。



令和4年7月19日
金武町議会

あて先
沖縄防衛局長

小野功雄沖縄防衛局長へ手交
(宮崎順次長(右端)が対応)

令和4年 第5回(8月)臨時会

令和4年第5回臨時会が8月9日(火)に招集され、1日間の会期で開催された。
臨時会では、新型コロナウイルス対策に係る補正予算や金武町ベースボールスタジアムの工事請負契約を審議し、採決の結果可決となった。
議決結果は下記のとおり。

令和4年 第5回(8月)臨時会 議決結果一覧

件 名	議決結果
令和4年度金武町一般会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ8,351万4,000円を増額し、総額115億3,232万2,000円とするもの。補正の主なものは、コロナ化における燃料費高騰への対応として金武町大型ダンプトラック支援金と物価高騰等により家計負担の増加する子育て世帯への子育て生活支援金、令和4年9月～11月分まで水道料金免除に係る補助金である。	原案可決 (全会一致)
金武町財政調整基金の処分について 地方税還付金、新型コロナウイルス対策費(自宅療養社への食糧支援)等へ1,141万6,000円以内を充当するもの。	原案可決 (全会一致)
令和4年度金武町水道事業会計補正予算(第3号) 収益出増減をなしとし、総額を5億4,540万4,000円とするもの。補正の主なものは、コロナ禍における原油価格・物価高騰対応として実施する、水道料金免除にかかる補助金受け入れである。	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名:金武町ベースボールスタジアム電光掲示板改修工事 契約の相手方:(有)國場電工・(有)富島建設 建設工事共同企業体 契約金額:2億7,049万円	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名:金武町ベースボールスタジアム屋外倉庫新設工事 契約の相手方:株式会社 仲間組 契約金額:6,056万6,000円	原案可決 (全会一致)

議案に対する議員の賛否一覧 ★今号から賛否一覧を掲載しております。

※賛成多数及び退席があった場合のみ掲載しています。

令和4年 第3回(6月) 定例会

議案	決議結果	松田健人	與那城直也	山里均	伊藝菊博	仲間トム	伊藝直樹	仲村広美	与儀実栄	大城正敏	外間慎仁	吉野潤	池原政文	大城一之	崎浜秀幸	前田健次	嘉数義光
工事請負契約締結についての決議内容の一部変更について(町道金武251号線整備工事(5工区))	可決	○	○	○	病	○	○	○	○	○	退	○	○	○	退	○	議
工事請負契約締結についての決議内容の一部変更について(金武町多目的屋内運動場施設建設工事(建築))	可決	○	○	○	病	○	○	○	○	○	除	○	○	○	退	○	議

令和4年 第4回(7月) 臨時会

議案	決議結果	松田健人	與那城直也	山里均	伊藝菊博	仲間トム	伊藝直樹	仲村広美	与儀実栄	大城正敏	外間慎仁	吉野潤	池原政文	大城一之	崎浜秀幸	前田健次	嘉数義光
伊芸地区住宅地で発見された銃弾らしき物に関する意見書	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	議

議案に賛成者は「○」とし、反対者は「×」とする。採決時退席者は「退」、公務の欠席者は「公」、傷病の欠席者は「病」、看護での欠席者は「看」、介護での欠席者は「介」、所用の欠席者は「欠」、出産のための欠席者は「産」、配偶者の出産補助の欠席者は「配」とする。

地方自治法により採決に加わらない除斥は※「除」とする。

(※除斥:審議の公平性のため、議員の一身上に関する案件について審議に参加できない制度)

議長は採決に加わらないため「議」で表示。(可否同数の場合は裁決権がある)

町村議会議長・副議長研修会

全国町村議会議長会は5月30日(月)、令和4年度町村議会議長・副議長研修会を東京国際フォーラムで開催し、全国から約1,600人の議長・副議長等が参加し、金武町議会から嘉数義光議長と前田健次副議長が参加した。

研修会では東京大学名誉教授の大森彌氏が「町村議会のあるべき姿」、大正大学社会共生学部教授の江藤俊昭氏が「町村議会議員報酬について」、上智大学法学部教授の三浦まり氏が「地方議会とハラスメント」と題して講演を行った。

9月定例会のご案内

9月定例会の開会は9月15日(木)を予定しており、日程が決まり次第、有線放送やホームページでお知らせいたします。

金武町議会事務局

有線電話：8-2292

NTT：098-968-2292



議員席間に設置したアクリル板

QRコードを読み取ると議会中継サイトに繋がります。



金武町議会では、検温、手指消毒や議場内の換気、議員間及び職員間にアクリル板の設置等新型コロナウイルス感染症対策を行っています。金武町ホームページからもご覧になれます。

※詳しい審議の状況は町立図書館と各区事務所に配布している会議録をご覧ください。

また、上記 QR コードをスマートフォンで読み取ると映像が視聴できます。